

ポスター発表 (107会議室)

ポスター掲示: 12:00-16:00 《コアタイム: 奇数番号 13:30-14:00, 偶数番号 14:00-14:30》

ポスター番号	演題	発表者(所属)
〈造林〉		
P-1	標茶町雷別地区外2箇所における土壌凍結の実態 -平成19~20年の調査結果から-	渡辺洋之(北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター)
P-2	クマイザサのクローンにおけるフラボノイド含量と光環境	○山崎雅夫・松田友彦(東京農大生物産業学部)・錦織正智(道立林試)・富塚 登・西澤 信・鈴木悌司(東京農大生物産業学部)
P-3	群落の異なるクマイザサのフラボノイド組成	○松田友彦・山崎雅夫(東京農大生物産業学部)・錦織正智(道立林試)・富塚 登・鈴木悌司・西澤 信(東京農大生物産業学部)
P-4	異なる地拵処理を行ったカラマツ人工林床での種子播種試験 -木本類の侵入契機に関する考察-	阿部友幸(道立林試)
P-5	「オホーツクの森」自然再生モデル事業地における森林遷移状況について	○国沢 修・石橋暢生(常呂川森林環境保全ふれあいセンター)
P-6	間伐率が樹幹細りにおよびす影響 -レラスコープ式デンドロメーターを用いた検討-	○今井 良・松本和茂・安久津久(道立林産試)・八坂通泰(道立林試)
P-7	ヨーロッパシラカンバと道産カンバ類3種の交雑組み合わせと果実の形質	○倉本恵生(森林総研北海道)・津田吉晃(森林総研)・竹田貴彦(王子製紙森林博物館)・篠原健司(森林総研)
P-8	大気中CO ₂ 濃度の増加が冷温帯樹木の成長及び競争関係にもたらす影響	○江口則和(北大FSC)・上田龍四朗(北海道ダルトン)・高木健太郎(北大FSC)・船田 良(東京農工大)・日浦勉・笹賀一郎(北大FSC)・小池孝良(北大院農)
P-9	開放系大気CO ₂ 増加(FACE)施設で育成した冷温帯主要落葉樹萌芽の光および窒素利用特性	○北岡 哲(森林総研北海道)・渡辺 誠・渡辺陽子(北大院農)・飛田博順・上村 章・宇都木玄(森林総研北海道)・江口則和・笹 賀一郎(北大FSC)・小池孝良(北大院農)
P-10	シラカンバが優占する落葉広葉樹林のCO ₂ フラックス観測(IV) -2007年のCO ₂ フラックスの季節変化-	○北村兼三・山野井克己(森林総研北海道)・中井裕一郎(森林総研)
P-11	ハンノキ属2種の水分特性に対する高CO ₂ 濃度の影響	○上村 章・飛田博順・北岡 哲・宇都木玄(森林総研北海道)
〈立地〉		
P-13	ハンノキ林拡大域におけるハンノキ個体の定着パターン	○志田祐一郎・中村太士(北大院農)
〈利用〉		
P-14	里山林業方式の新しい耕地防風林づくりについて	斎藤新一郎
P-15	全木集材方式による未利用木質バイオマス収集コストの削減と物質動態への影響	○永岡 彩(北大院環境)・秋林幸男・野村 睦・高木健太郎・上浦達哉・北條 元・高橋廣行・小塚 力・坂井 励・笹 賀一郎(北大FSC)
〈経営〉		
P-16	林地残材のエネルギー利用に向けた収集・チップ化システムの検討② -アカエゾマツ除伐の事例	○酒井明香・渡辺一郎(道立林試)
〈林政〉		
P-17	環境保全に関わる市民団体を支援する中間支援組織に求められている役割 -札幌都市圏を事例として-	北條堯士(北大院農)
〈造林〉		
P-18	異なる地かき方法による流出土砂量の考察	松本信二(北海道森林管理局森林技術センター)